

丸穴

テープ工法

IKD-N

熱膨張性テープを使用し、床・壁・中空壁・片壁の
いずれにも使える万能キット

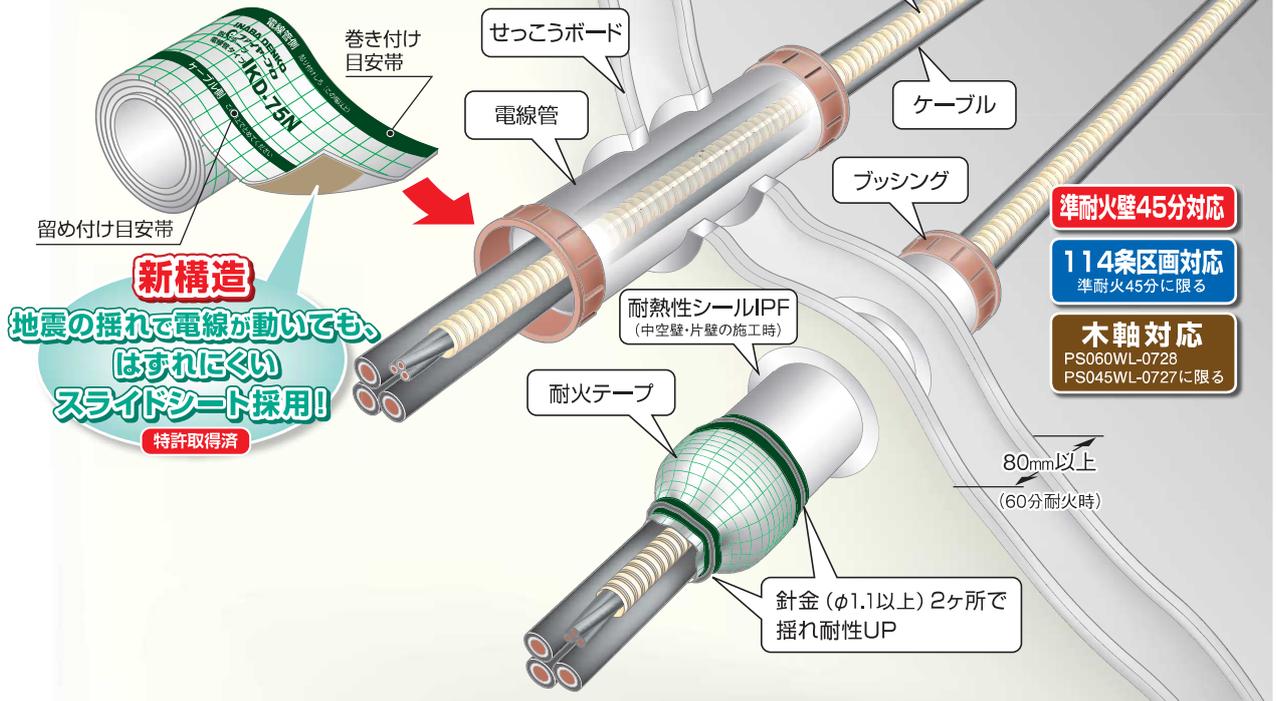
耐火テープ 電線管タイプ (床・壁・中空壁・片壁 兼用)

国土交通大臣認定番号

- PS060FL-0723(床)
- PS060WL-0729(壁)
- PS060WL-0728(中空壁[耐火・準耐火60分]・木軸)
- PS045WL-0727(中空壁[準耐火45分]・木軸)
- PS060WL-0726(片壁)

**地震
対策品**

“地震に強い”新耐火工法!
準耐火45分にも対応。



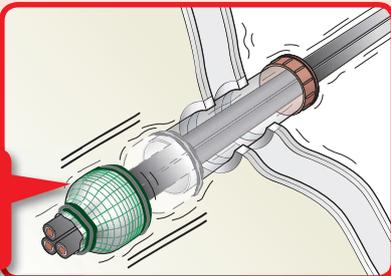
地震に強い!

東日本大震災クラスの振動試験でも施工箇所の
破損がありませんでした。
((一財) 建材試験センターにて検証)

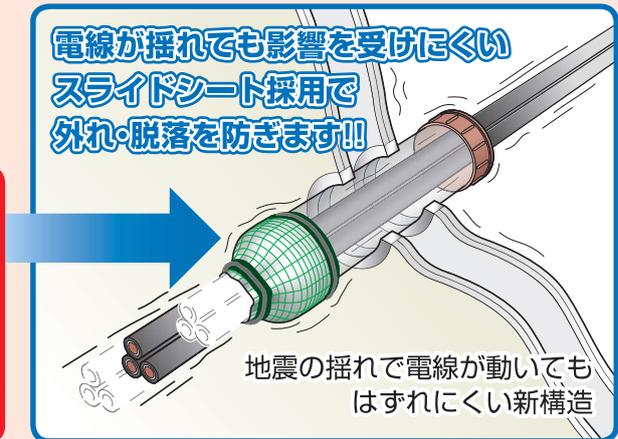
振動試験の動画はコチラ



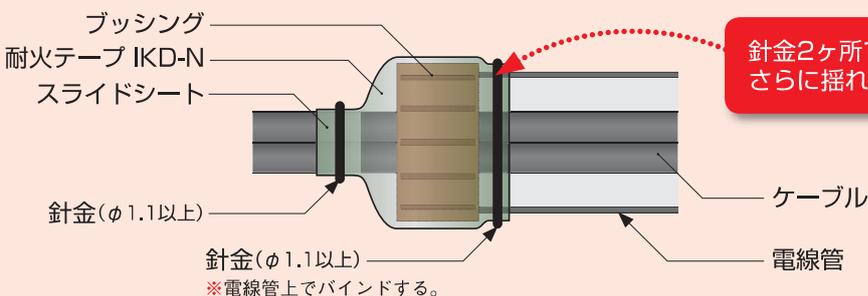
以前は・・・
地震の揺れて耐火テープが
ブッシングごと脱落する
可能性がありました。



電線が揺れても影響を受けにくい
スライドシート採用で
外れ・脱落を防ぎます!!



地震の揺れて電線が動いても
はずれにくい新構造



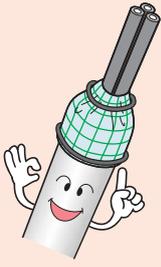
簡単施工

電線管の片側に
耐火テープと針金(φ1.1以上)2ヶ所を
巻くだけの

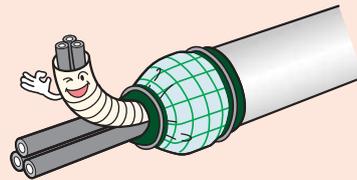
超簡単施工

目安帯が付いて
止め位置がわかりやすく、
作業時間も

大幅短縮

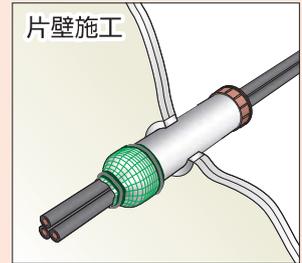
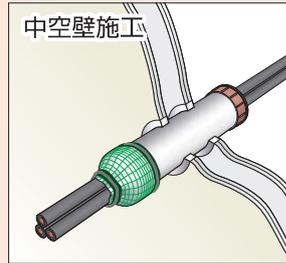
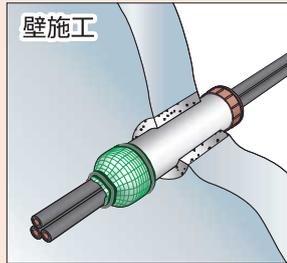
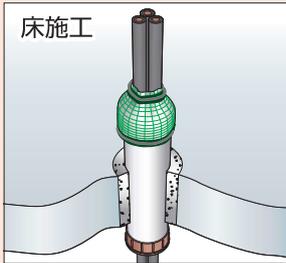


PF管(CD管)と 裸ケーブルの混在OK



PF管(CD管)を裸ケーブルと同時に
貫通させることが可能です。
将来、電線の変更が生じても対応できます。

簡単なのに、ここまで使える



特長

国土交通大臣認定取得

- 建築基準法にて要求されている1時間耐火性能に合格しています。
- 準耐火壁45分、木軸施工、114条区画にも対応しています。(準耐火45分に限る)

地震に強い

- スライドシート採用で地震の揺れで電線が動いてもはずれにくい構造です。

簡単な施工性

- テープを巻き付ける簡単な施工方法です。

- 止め位置がわかりやすい目安帯が印刷されています。
- 壁・中空壁・片壁は片側の施工で完成します。
- 床施工は床上からの施工で完成します。

PF管(CD管)と裸ケーブルの混在OK

- PF管(CD管)を裸ケーブルと同時に貫通させることが可能です。
将来、電線の変更が生じても対応できます。

万能キット

- 同じキットで床施工、壁施工、中空壁および片壁施工のいずれにも対応できます。

認定範囲 ※詳細は認定書をご確認ください。

床・壁構造 (国土交通大臣が認定したもの)		床 (ALC・コンクリート)	壁 (ALC・コンクリート)	中空壁 準耐火構造60分 耐火構造60分	中空壁 準耐火構造45分	片壁 片面強化せっこうボード 重ね張り(Sウォール*)		
国土交通大臣認定番号		PS060FL-0723	PS060WL-0729	PS060WL-0728	PS045WL-0727	PS060WL-0726		
構造	床・壁厚み	100mm以上	75mm以上	80mm以上	74mm以上	42mm以上		
	開口部	形状	円形(φ175以下)	円形(φ175以下)	円形(φ160以下)	円形(φ160以下)		
	占積率	開口面積に対する鋼製電線管 断面積の割合	42.0%以下		93.3%以下			
ケーブル・配管		電線管内面積に対するケーブル・ 樹脂製電線管断面積総合計の割合	69.0%以下					
		ケーブル	1本あたり 6.6kV、325mm ² 以下					
		鋼製電線管(JIS C 8305)	長さ	218mm以上	193mm以上	198mm以上	192mm以上	160mm以上
		ブッシング 注)金属製電線管用の付属品 (JIS C 8330:絶縁ブッシング2号) その他の鋼製、樹脂製	外径	127mm以下				
			長さ	49mm以下				
		鋼製電線管戻し材		モルタル		IPF(耐火バテ硬化型不燃タイプ)		
	合成樹脂製可とう電線管 (JIS C 8411)	PF管 (外径)	36.5mm以下 (PF-28 以下)					
		CD管 (外径)	27.5mm以下 (CD-22 以下)					
	硬質塩化ビニル電線管 (JIS C 8430)	外径	—	36.5mm以下 (VE-28 以下)				

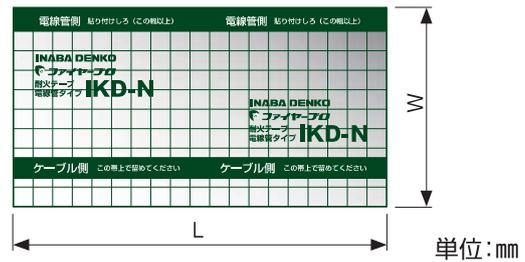
〈注意〉厚鋼φ36mmサイズで外径45.5mm、長さ34.8mmサイズのねじなし(打ち込みタイプ)ブッシングを使用し、貫通配線が少ない場合は必要に応じてIKD-75Nをご使用ください。

*Sウォールは吉野石膏株式会社の登録商標です。

仕様



寸法図



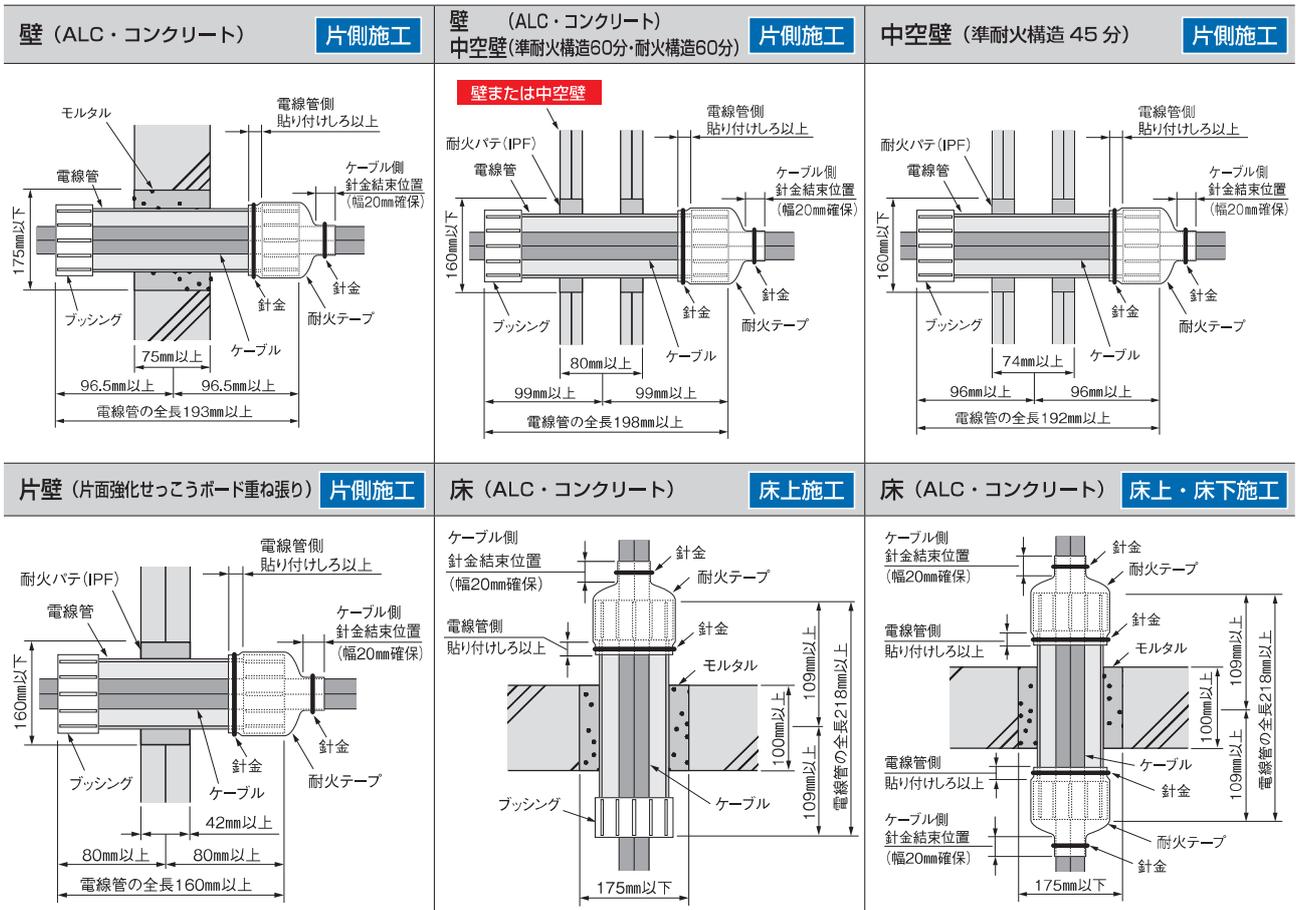
適合鋼製 電線管サイズ(mm)	商品コード	型番	耐火テープ 寸法				耐火性				部品数量				施工可能箇所数 ^{※1}	
			厚さ (mm)	幅 W(mm)	長さ L(mm)	長さ L(mm)	耐火テープ (巻)	固定針金 (本)	取付針金 (枚)	工法ラベル ^{※2} (枚)	サイズ	箇所数				
φ39以下(推奨φ16~φ39) (厚鋼・薄鋼・ねじなし)	690-770-63710	EA944MX-1A	2	85	2000	6800	1	1	1	22	φ19	22ヶ所				
											φ39	13ヶ所				
φ75以下(推奨φ42~φ75) (厚鋼・薄鋼・ねじなし)	690-770-63711	EA944MX-2A	2	125	2000	5000	1	1	1	10	φ42	10ヶ所				
											φ75	7ヶ所				

〔注意〕開口穴径は、開口面積に対する電線管断面積の割合が42.0%以下(中空壁、片壁、準耐火45分壁の場合は93.3%以下)になるように設定してください。
粘着剤側には地震対策としてスライドシートが付いています。

※1 数値は目安です。

※2 施工後の建築検査などで弊社製品であることを確認いただけるように独自の工法ラベル(ケーブル防火貫通部措置工法ラベル)を同梱していますので活用ください。
施工会社は、正しく施工したことを確認し、「施工会社名」、「施工年月」をボールペンで記入して見やすい場所に貼り付けてください。
別途ケーブル防災協議会発行の工法表示ラベルをご要望のお客様はお問い合わせください。

施工断面図



ご注意



1. 施工は内線規程に基づいて行ってください。
2. 作業される場合は、手を傷つける恐れがありますので、軍手などを着用してください。
3. 認定書をご熟読ください。
4. 使用途中の耐火テープは品質維持のため、次回ご使用されるまで元の箱に戻して保管してください。
5. 耐火テープの巻き付け位置は必ずお守りください。
6. スライドシートは剥がさないでください。耐震性能がなくなります。(製品の内層フィルムの浮きなどございますが、不良品ではございません。留め付け施工後になじみ、耐震性能に寄与します。)

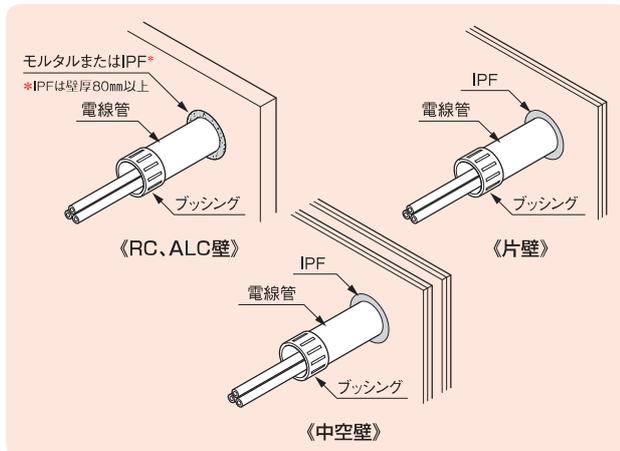
この施工手順は参考資料です。必ず認定書の内容をご確認の上で施工してください。

施工手順

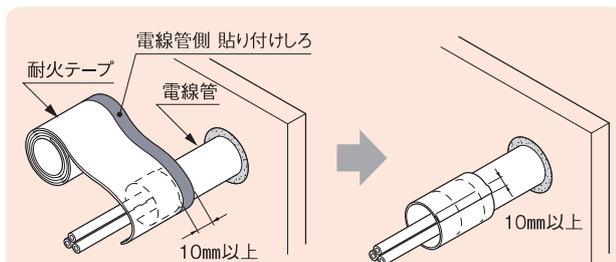
■壁・中空壁工法の場合

- ①電線管と開口部とのすき間は、モルタルや耐火パテ硬化型不燃タイプ(IPF)で埋め戻してください。

〈注意〉特に片壁、中空壁に貫通する場合は、電線管がしっかり固定しているか確認してください。

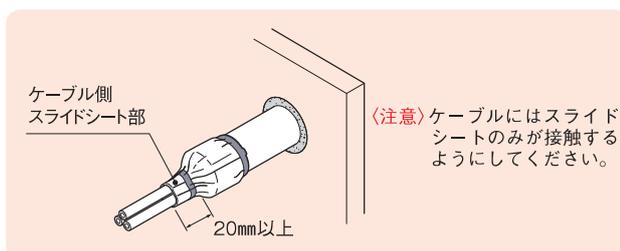


- ②電線管ブッシングの外周に対して10mm以上オーバーラップするように耐火テープをカットしてください。カットした耐火テープを電線管に10mm以上かかるように巻きつけてください。

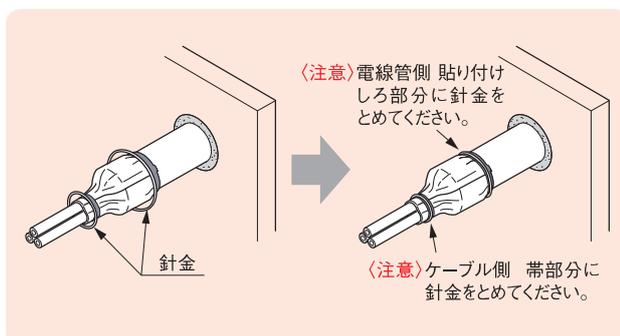


〈注意〉電線管側貼り付けしろ以上、かぶり寸法を確保してください。(ケーブル側のかぶりしろに余裕があるときは、電線管側貼り付けしろを10mm以上取ってもかまいません。)

- ③電線管先端からの出しろが20mm以上となるように、ケーブルを電線管の中央に寄せながら、耐火テープをケーブルに隙間が発生しないように密着させてください。

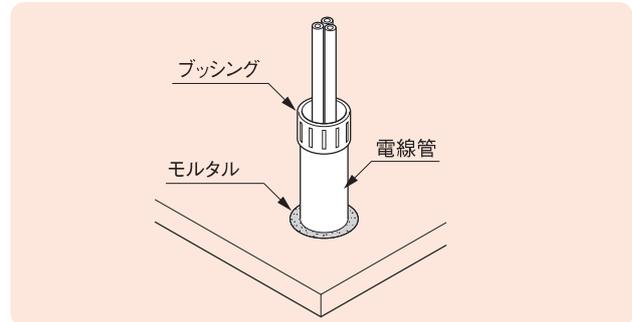


- ④φ1.1以上のステンレス鋼製、鋼製の針金で固定してください。

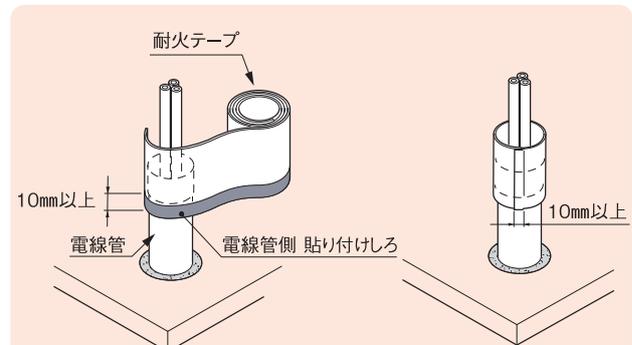


■床工法の場合

- ①電線管と開口部とのすき間は、モルタルで埋め戻してください。

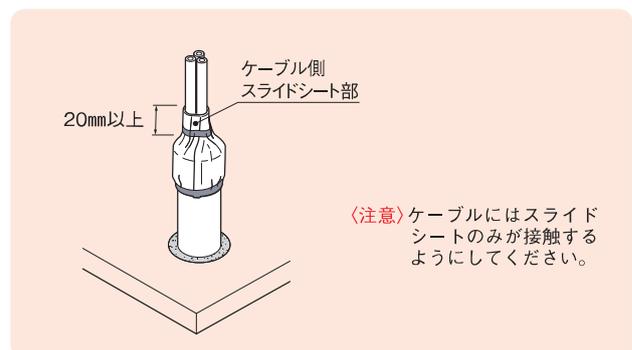


- ②電線管ブッシングの外周に対して10mm以上オーバーラップするように耐火テープをカットしてください。カットした耐火テープを電線管に10mm以上かかるように巻きつけてください。



〈注意〉電線管側貼り付けしろ以上、かぶり寸法を確保してください。(ケーブル側のかぶりしろに余裕があるときは、電線管側貼り付けしろを10mm以上取ってもかまいません。)

- ③電線管先端からの出しろが20mm以上となるように、ケーブルを電線管の中央に寄せながら、耐火テープをケーブルに隙間が発生しないように密着させてください。



- ④φ0.9以上のステンレス鋼製、鋼製の針金で固定してください。

